

公民館だより さくらぎ

平成19年 9月号

No. 234

桜木公民館

周南市城ヶ丘2-4-21

TEL 0834 (28) 5973

FAX 0834 (29) 0788

sakura-ko@city.shunan.yamaguchi.jp

祭りで学ぶ
子どもたち

みんなが主役!

~さくらぎふれあい夏祭り~

夏、真っ盛りの7月29日、桜木地区まちづくりの最大イベント『ふれあい夏祭り』が、3000人を越す熱い地区民の参加で開催されました。

夜店を覗き、夏の味を満喫し、ステ

ージの夏の音楽や踊りを五感で楽しみました。仕掛ける人と応ずる人が醸し出す「一体感」が、まちづくりへのエネルギーになるはずです。

祭りをつくる
演出家



子どもたちの でっかい夏

子ども特別講座

7/27 料理教室①
8/2 風鈴づくり
8/8 料理教室②

8月の活動記録簿



子ども体験入学



8/23 ペン、習字講座

7/27 押し花 (おばあちゃんと一緒に)

小学校の授業体験

7/31 コミュニティ・スクールの参観

音楽の授業

茶つみのうた♪

先生、このうたは
2番まであったの？



校長先生の
特別授業



国語の授業

あいうえおのうた♪
あのつく言葉は
なんだろう



市長さんの
授業参観



今年の夏まつりの熱いステージ！



講座紹介

運営委員さんによる

《リレー方式》

「ハッピーフィート」の練習中

『ツールペイント』

次回は...

一九八六年に結成したショータイムダンスチーム「アソシエイツ」も、今年二十一年目を迎えました。桜木公民館にお世話になるのも、もう十年以上となり、その間「桜木フェスティバル七〇〇〇」や「桜木夏まつり」でのステージを幾度も努めさせていただきました。

ヒップホップダンスを中心に、ブレイクダンス、ジャズ、歌、パントマイムなども取り入れて、お客様に楽しんでいただけるショーステージを目指して練習に励んでいます。

これまで県内各地で八十回以上のステージに出演、コンテストにも二十回出場と、積極的に活動し、またイベントの振り付けや指導等、多忙な毎日です。これからもショーでのご声援お願いします。

（運営委員 中田 圭子 記）

開催日時

毎月第1、4木曜日

午後7時～9時

文化が薫る秋

フェスタ・文化祭

9月の公民館花壇



コキア (ほうき草)

見どころポイント!

ヨーロッパ南部が原産だとか。今は、うすい緑色が美しい時期です。これから先、茎や葉の色の変化に注目しておいてください。秋の深まりとともに、赤く変化していく様子は見事なものです。また、この花は、『ほうき草』、または、『ほうき木』とも呼ばれています。花としての観賞価値がなくなってきたら、帚作りに挑戦してみることも出来ます。

ラジオ体操 (城ヶ丘公園)

7月2日から開始されたラジオ体操にはいろいろな年齢層の方に参加いただいています。

毎日100名を越す人々が参加されています。特に今年は子どもたちがたくさん参加してくれました。大人の励ましのかけがえありません。

9月28日(金)まで行われます。皆さん!朝の公園に足を運んでみませんか!

7月度皆勤賞は左記のとおりです。

「敬称略」

- 逆井 進 (城4)
- 逆井 晋 (城4)
- 牧田 善吾 (城3)
- 田村 菜由佳 (城4)

(桜木地区)ミニミニテイ)

9月 さくらぎカレンダー

- 1日(土) 周南市・桜木地区共催
周南市大規模防災訓練(9:00~桜木小学校)
「防災体験をしてみませんか」
- 9日(日) 周陽中学校運動会(9:00~)
- 17日(祝) 敬老の日祝賀行事 [桜木小学校 体育館]
9:00~9:25 受付
9:30~9:45 式典
9:50~11:30 余興、ゲームなど
声をかけ合って参加してください
- 22日(土) 桜木小学校運動会(8:50~)
- 27日(木) 向道湖福祉農園作業 [老連]

《俳句コーナー》

- ・新涼や 風の匂ひを 胸に溜め
 - ・ぎこちなき 踊り浴衣も 父ゆずり
 - ・気まぐれに 君に名残りの 流れ星
 - ・野地蔵に 蛸いこくとまり 声聞かす
 - ・ままごとの 昔欲しかり 赤のまま
- ※赤のまま…犬蓼のこと (一洋)

【 雑記帳 】

今年の夏休みは、昭和54年卒のクラス会から案内が届きました。担任挨拶で、名前が思い出せない子どものために編み出した『私流名前の聞き出し方』を初めて披露しました。

「え〜っと、君は誰だったかねえ。ここまで出てくるのだが思い出せないんだ」

「私は〇〇です」
「それくらいは知ってるよ!姓ではなくて下の名前の方だよ」

「名前は△△です」
「そう、そう! 〇〇△△君だったね」

座も和らいだ頃、顔中黒い髭を蓄えた大男が挨拶にやってきました。「先生! 僕も全く同じ手で名前を聞き出しています」

彼は、高専の教授をしていることで、誰にも明かしたことの無い秘術を、彼はどのようにして盗み取ったか不思議でたまりません。

「おい! 子どもが怖がるたわし髭など剃ってしまえ!」

「先生だって、子どもが怖がる短髪の大声だったじゃないですか。蛙の子は蛙です!」

黒沢明監督の映画「まあだだよ」では、クラス会が毎年開かれます。宴席の1気飲みで、死にそうで死なない先生に「まあだだよ」と聞けば、先生は「まあだだよ」と答えます。

師弟のほのぼのとした絆でしょうか